

千葉市多文化共生のまちづくり推進指針 ◆千葉市基本計画の部門計画

基本理念

全ての市民が、安全・安心に暮らし、国籍や言語・文化などの違いを認め、互いに分かり合い、支え合い、多様性をまちの力にする多文化共生社会を実現することで、国際都市としてのさらなる発展を目指す。

千葉市多文化共生推進アクションプラン ◆計画期間：2023年度～2025年度

方向性Ⅰ 全ての市民が、誰一人取り残されることなく、安全・安心に暮らせる社会の実現

こころの支援

(1)多言語・やさしい日本語による発信

- 公式ホームページの多言語化 ○SNS による情報発信拡充
- AI チャットボットの導入 ○行政手続、手引きの多言語・やさしい日本語表記
- 公共施設等の多言語表記 ○転入者向け案内リーフレットの作成

(2)日本語学習支援の強化

- 小・中学校での学習支援 ○小・中学校以外での学習支援

くらしの支援

(1)相談機能の拡充

- 行政窓口の多言語・やさしい日本語通訳システム整備 ○相談ツール拡充
- 行政手続、手引きの多言語・やさしい日本語表記
- 行政職員のためのやさしい日本語研修

(2)通訳・翻訳支援

- 公立保育所への通訳者配置及び当該通訳者の市内保健所等への派遣
- 保育所等における多言語通訳・翻訳機の購入支援 ○コミュニティ通訳・翻訳サポーター制度

(3)生活支援

- 市営住宅入居時の情報提供、セーフティネット登録住宅等の民間賃貸住宅の紹介
- 就労支援 ○就学支援

災害時の支援

(1)災害発生時の支援

- 災害時外国人支援センターの運営 ○多言語防災メール
- 感染症流行時における情報提供等の強化

(2)防災の周知

- 防災教室の開催 ○外国人のための防災ガイドブックの発行、充実
- 多言語対応ハザードマップの作成

方向性Ⅱ 個人を尊重し、国籍や言語・文化の多様性をまちの力にすることで、誰もが生き生きと活躍できる社会の実現

共生社会の基盤作り

(1)連携体制構築

- 多文化共生ネットワーク(仮称)の構築

(2)相互理解の促進

- 「つながて」育成 ○多文化ウェルカム団体との登録・マッチング制度
- 本国文化を紹介する機会の創出 ○JICA 海外協力隊経験者による情報発信

(3)働く場の創出

- 外国人雇用の企業向けセミナー開催 ○外資系企業誘致、外国人市民の起業支援
- 企業内でのやさしい日本語研修

地域活動支援

(1)ボランティア支援

- ボランティア登録・マッチング制度

(2)市民活動の支援

- モデル的町内自治会等補助

海外都市交流

(1)姉妹都市交流

- 青少年交流 ○大学間交流 ○スポーツ交流 ○芸術・文化交流

(2)国際協力

- 地球規模課題の解決に係る取組



千葉市



概要版

多文化共生のまちづくり推進指針 多文化共生推進アクションプラン

2023年度～2025年度

全ての市民が、安全・安心に暮らし、国籍や言語・文化などの違いを認め、互いに分かり合い、支え合い、多様性をまちの力にする多文化共生社会の実現

千葉市の外国人市民の現状

増加傾向

31,511人

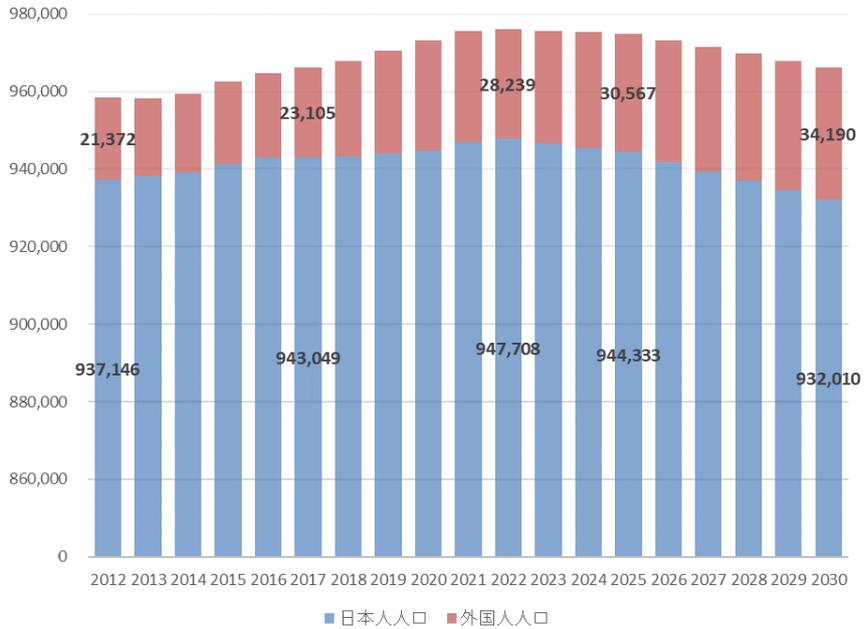
※令和5年3月末現在

多国籍化

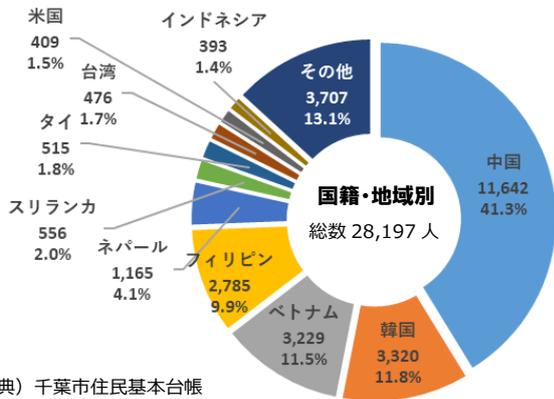
110ヶ国・地域の
出身者

定住化の進展

中長期滞在可能な
在留資格者



(出典) 千葉市住民基本台帳 (各年3月末現在)、令和5年度以降は国際交流課による推計



(出典) 千葉市住民基本台帳

(令和4年3月31日現在)

